

決算審査

9月9日

平成26年度各会計決算審査を、決算特別委員会で審議しました。どのような審議をしたのか、その経過を要約してお知らせします。

総務費

- Q** 夢基金事業の実績は。
- A** 屈足地域で行われた地域おこし若者イベント・ガンケフエスティバルに100万円。新生の2町内会創設55周年記念事業（記念誌作成等）に26万9千円の2件に助成。
- Q** 車両管理費の大幅な減額の要因は。
- A** 町バス臨時運転手の病欠退職に伴う賃金の減額である。

- Q** これまでの広報ビデオ作成本数は。また、どのように活用しているのか。
- A** 歴史を後世に残すことと、町の紹介を目的に、昭和53年から31本作成している。町内会の行事や町職員新人研修等に活用している。今後も広く活用するよう努める。
- Q** トムラウシ地区水道水源調査の結果と対応は。
- A** 水量・水質調査を浄水場付近と学校プール付近の2カ所で実施。プール利用時は殺菌対策し河川と地下水併用利用。地下水は季節的に水位の変動もあるので継続的に試験する。水質検査では特に

- 問題ないとの結果になっていない。
- Q** コミュニティバス運行から一年が経過したが、評価はどうか。
- A** 1便当たり5人程度の乗車実績。今後もピーアールし、高齢者を中心に利用者を増やしたい。
- Q** 地域支え合い体制モデル事業について25年度は町内会等2団体が参画したが26年度の実績ゼロの理由は。
- A** 「モデル事業」に参画する団体・町内会等がなかったため。
- Q** 屈足保育所改築検討委員会の進捗状況

民生費

- 問題ないとの結果になっていない。
- Q** 5名の委員で委員会を形成しており、28年度に実施設計ができるように進めている。
- A** 況は。
- Q** 出産祝金の実績と第3子以上の新たな制度の評価は。
- A** 26年度出生数45名。祝い金制認定数は32名である。このうち第3子が3名、第4子が3名、第5子が2名の計8名。今後も町内外問わず一層ピーアールする。
- Q** 燃やせるゴミ袋が縦に「さける」欠点があると聞くと対策を。
- A** 「赤袋」「青袋」とも同じ材質を使用

衛生費

- しているため指摘の問題はないと考えている。しかし、鋭利な物には弱いため材質等について検討する。
- また、高齢者を中心に出前講座で、ゴミの分別等を説明しているが、併せてゴミの袋への詰め方も指導する。
- Q** 26年度執行方針でうたっていた景観条例策定委員会の取り組みは。
- A** 町としては、空き家対策の一環として取り組むこととしていたが、国で「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が制定され、それに基づき対策を進めるため、町独自の景観条例を策定しないと